

第3回理事会報告

日 時 令和8年5月19日（火）午後3時～同4時10分

オンライン（Zoom）開催

出席者 <会 長> 小林隆太郎

<副 会 長> 一戸達也、川口陽子

<総務理事> 天野敦雄

<常任理事> 末瀬一彦、宇尾基弘、小峰 太

（以下の役員がオンライン出席）

<常任理事> 伊藤明彦、宇田川信之、池邊哲郎、新井一仁、

吉成伸夫、野本たかと、秋山仁志、細川隆司

<理 事> 近藤紀之、北村知昭、大久保力廣、山本龍生、

服部雅之、村上秀明、渋谷 鑛、尾崎哲則、

岩渕博史、平野浩彦、長塚 仁、坪田有史、

松島正和、横瀬敏志、安井利一、石垣佳希

<オブザーバー>

□日本学術会議 歯学委員会委員長 村上伸也

□国際歯科研究学会日本部会 会長 林美加子

□日本口腔科学会 理事長 星 和人

欠席者 <常任理事> 新谷誠康

<理 事> 松浦信幸、栗田 浩

<オブザーバー> 日本歯科総合研究機構

※オンラインによる常任理事・理事・オブザーバーの出席は、診療所もしくは勤務地から Zoom を通じて参加することによって行われた。

開会に先立ち、天野総務理事より、理事総数 34 名のうち 30 名の出席を得ており、日本歯科医学会規程第 17 条の規定により本理事会の成立が報告された。

（※最終的な出席者は 31 名）

また、天野総務理事より、理事会に初めて出席する日本歯科理工学会選出の服部雅之理事及び日本口腔科学会 星 和人理事長の紹介及び挨拶がなされた。

[議長 天野総務理事]

1. 開 会

一戸副会長から、開会の辞。

2. 挨拶

小林会長から、挨拶がなされた。

3. 報 告

1) 会務報告

(1) 一般会務報告

天野総務理事から、以下の項目について報告。

□一般会務報告（令和 8 年 1 月 17 日～同 5 月 15 日）

□第 2 回理事会報告（令和 8 年 1 月 20 日（火）開催）

□第 2 回常任理事会報告（令和 8 年 4 月 28 日（火）開催）

(2) 各種委員会開催状況

天野総務理事から、令和 8 年 5 月 14 日現在の各種委員会の開催状況等について、資料に基づき報告。

(3) 専門・認定分科会への情報提供

天野総務理事から、令和 8 年 1 月 19 日以降、情報提供項目 16 件について、資料に基づき報告。

(4) 役員派遣

天野総務理事から、現執行部発足（令和 7 年 7 月 1 日）以降の 44 件の役員派遣について、資料に基づき報告。

2) 会計報告

(1) 令和 7 年度学会会計収支決算報告

伊藤常任理事から、標記決算について資料に基づき報告。

(2) 令和 7 年度第 25 回日本歯科医学会学術大会会計収支決算報告

伊藤常任理事から、標記決算について資料に基づき報告。

3) 役員・評議員等の変更について

天野総務理事から、下記のとおり、日本歯科理工学会選出の理事・評議員・予備評議員・学術研究委員会委員の変更について資料に基づき報告。

なお、就任時期については、令和8年5月12日付とすることを確認。

役 職	新	旧	所 属
理 事	服部雅之	二瓶智太郎	日本歯科理工学会
評 議 員	菊地聖史	服部雅之	
	二瓶智太郎	谷本安浩	
予備評議員	日比野 靖	新谷明一	
	黒岩昭弘	松本卓也	
学術研究委員会委員	根津尚史	谷本安浩	

4) 日本歯科医学会役員の業務分担の変更について

天野総務理事から、日本歯科理工学会の役員変更に伴い、研究倫理審査委員会の担当役員を二瓶前理事から服部理事に変更した旨報告。

5) 日本歯科医学会分科会の資格更新審査について

川口副会長から、令和8年度は▽日本歯科医史学会、日本顎関節学会の2専門分科会における論文数の条件審査（資格更新再審査）を行った結果、「資格更新可」とする▽日本口腔内科学会、日本睡眠歯科学会の2認定分科会の資格更新審査を実施する旨資料に基づき報告。

6) 歯科診療に関する基本的な考え方について

小林会長から、厚生労働省より令和8年度診療報酬改定に伴い、日本歯科医学会の歯科診療に関する基本的な考え方について、内容改訂および作成の依頼を受け、分科会協力のもと、下記7つの基本的な考え方を作成し本会HPに掲載した旨資料に基づき報告。

- ① 歯科遠隔連携診療に関する基本的な考え方
- ② 歯科診療における静脈麻酔等に関する基本的な考え方
- ③ 有床義歯の管理について
- ④ CAD/CAM 冠に関する基本的な考え方

- ⑤ CAD/CAM インレーに関する基本的な考え方
- ⑥ 歯周病の治療に関する基本的な考え方
- ⑦ 口腔機能低下症に関する基本的な考え方

7) 関連団体からの報告

□日本学術会議報告

村上歯学委員会委員長から、日本学術会議が27期より新しい法人体系にて始動すること、日本学術会議内の取り組みに関する『歯学分野の研究力の推移、及び歯学領域が抱える問題』報告書のホームページ掲載、今年度開催予定の公開講演・シンポジウム等の日程について、口頭にて報告。

□国際歯科研究学会日本部会報告

林会長から、2026年3月開催の国際歯科研究学会（IADR）ジェネラルセッション、2029年6月開催予定の国際歯科研究学会（IADR）総会・学術大会、2026年11月開催予定の国際歯科研究学会日本部会（JADR）総会・学術大会について口頭報告。

□日本口腔科学会報告

星理事長から、『掌蹠膿疱症 歯科診療の手引き』の進捗状況について、口頭にて報告。

□日本歯科医学会連合報告

一戸理事から、5月22日（金）及び6月1日（月）に理事会を開催予定である旨口頭報告。

8) その他

渋谷理事から、6) 歯科診療に関する基本的な考え方について、HP等公に公開されたのは今回が初めてか質問。

小林会長から、本学会HPを見ていただくとわかる通り、以前から公開している。『歯科点数表の解釈』（社会保険研究所）にも掲載されている旨回答。

渋谷理事から、今回報告された基本的な考え方は、新規のものという理解で良いか質問。

小林会長から、新規のものもあれば過去に出されたのを改訂したものもある。過去の基本的な考え方も、本学会HPで閲覧できる旨回答。

渋谷理事から、日本歯科医学会のクレジットで出されているため、基本的な考え方から逸脱したような場合、どのように考えるか解釈等を尋ねられたこ

とはあるか質問。

小林会長から、書き方を誤ると算定要件に関わる可能性がある。また、この基本的な考え方は、都道府県の指導医療官が個別指導等で利用していたことも多かった。日本歯科医学会の立場としては、算定に関係しない、学術的な説明書の位置付けにとどめることを基本としている。また、厚生労働省は通知文で基本的な考え方を利用したいので、日本歯科医学会のクレジットを必要としている。個別指導等で変な利用をされないよう留意しており、流れ図等にも「一例を示す」と記載している旨回答。

尾崎理事から、『オーラルたばこパウチ』という製品の発売および口腔がんリスク表示について、情報提供がなされた。

4. 議 題

1) 専門・認定分科会資格審査委員会報告の取り扱いについて

(専門分科会登録申請学会)

川口副会長から、日本口腔診断学会、日本口腔腫瘍学会、日本口腔顔面痛学会の 3 つの認定分科会より専門分科会への加入申請があり、専門・認定分科会資格審査委員会にて審議の結果、全て加入不可と判定した旨の報告がなされた。

この報告を踏まえ、天野総務理事から、専門分科会加入申請学会の加入可否について諮られ、加入の可否についてそれぞれ学会ごとに無記名投票を行った結果、3 学会すべて加入不可が多数となったため、専門分科会加入学会はなしとすることを確認。

2) 第 26 回日本歯科医学会学術大会について

天野総務理事から、標記大会の開催日および会場について、資料に基づき諮られ、全会これを承認。

本件を第 118 回臨時評議員会に報告事項としてあげることを確認。

3) 日本歯科医学会学術用語集（第 3 版）について

川口副会長から、標記用語集について、2018 年に第 2 版を発刊後、一定期間が経過していることから、第 3 版を作成したい旨資料に基づき諮られ、全会これを承認。

本件を第 118 回臨時評議員会に報告事項としてあげることを確認。

4) 第 118 回臨時評議員会の開催について

天野総務理事から、標記評議員会について、令和 8 年 6 月 9 日（火）午後 2 時からオンラインにて開催することを諮られ、全会これを承認。

併せて日程及びタイムスケジュール案について確認。

5) 国際歯科学研究学会（IADR）活動に関する調査研究依頼について

天野総務理事から、国際歯科学研究学会日本部会（JADR）に対し、標記調査研究依頼を本年度も例年のとおり行うこと、委託費として 64 万円を交付することについて諮られ、全会これを承認。

5. 閉 会

川口副会長から、閉会の辞。